

写真管理基準

写真管理基準

- 1 . 写真管理基準. 3 - 1
- 2 . 出来形管理写真. 3 - 3

写真管理基準

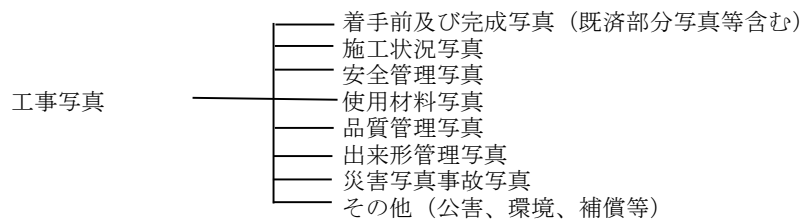
1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（デジタルカメラを使用した撮影～提出）に適用する。
また、写真を映像と読み替えることも可とする。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるように被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、「デジタル写真管理情報基準」に規定する写真情報（写真管理項目・施工管理値）に必要事項を記入し、整理する。また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工及び3次元データによる施工管理

「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。また、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。臨場時の状況写真は不要。

2-5 写真の編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。ただし、『デジタル工事写真の小黑板情報電子化について』（平成29年1月30日付け、国技建管第10号）に基づく小黑板情報の電子的記入は、これに当たらない。

2-6 撮影の仕様

写真の色彩やサイズは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 有効画素数は小黑板の文字が判読できることを指標とする。縦横比は3：4程度とする。(100万画素程度～300万画素程度＝1,200 X 900程度～2,000 X 1,500程度)

映像と読み替える場合は、以下も追加する。

- (3) 夜間などカメラによる撮影が困難な場合は、赤外線カメラを用いる等、確認可能な方法で撮影する。
- (4) フレームレートは、実速度で撮影する場合は、30fps程度を基本とする。高倍速での視聴を目的とする場合は、監督職員と協議の上、撮影時に必要な間隔でタイムラプス映像を撮影することができる。

2-7 撮影の留意事項

撮影箇所一覧表の適用について、以下を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (3) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を参考図として作成する。
- (4) 撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取り扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督職員に提出するものとする。写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法（各種仕様）は「デジタル写真管理 情報基準」に基づくものとする。

4. その他

撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義

- (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (2) フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準(案)」を参考に監督職員と提出頻度等を協議の上、取扱いを定めるものとする。

撮影箇所一覧表

区分	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前 1回 〔着手前〕	着手前 1枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後 1回 〔完成後〕	施工完了後 1枚	
施工状況写真	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回 〔月末〕	不要	
		施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜 〔施工中〕	適宜	
			高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	不要	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所1回 〔施工前後〕	代表箇所 1枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における空中写真測量（UAV）」による場合は、撮影毎に1回（写真測量に使用したすべての画像（ICONフォルダに格納）） 〔発生時〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）における地上型レーザースキャナ（TLS）、地上移動体搭載型レーザースキャナ（地上移動体搭載型LS）、無人航空機搭載型レーザースキャナ（UAVレーザー）、TS（ノンプリズム方式）、TS等光波方式、RTK-GNSS」による場合は、計測毎に1回 〔発生時〕	不要	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕	全景1枚	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回 〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各1回 〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回 〔実施中〕	不要	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法	各品目毎に1回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。
		検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕		
品質管理写真	別添 品質管理写真撮影箇所一覧表に記載				
出来形管理写真	別添 出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載				
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可
その他	補償関係	被害又は損害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕	適宜	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
1	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	コンクリート舗装の場合適用
		スランブ試験			
		コンクリートの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]		
		コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
	セメント・コンクリート (転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)構造物工編(試行)」により施工完了時の状況(全周)の提出によりひび割れ調査写真を代替することができる。		
		テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]		
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	不要	
		浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
セメントミルクの圧縮強度試験					
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		ブルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		上の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		粒度			
		平板載荷試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要	
7	セメント安定処理路盤 (施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
8	アスファルト舗装 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	アスファルト舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
温度測定					
外観検査					
すべり抵抗試験					
9	転圧コンクリート (施工)	コンシステンシーV C試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		マーシャル突き固め試験			
		ランマー突き固め試験			
		コンクリートの曲げ強度試験			
		温度測定 (コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]		
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]		
10	グースアスファルト 舗装 (プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		リュエル流動性試験240℃			
		ホイールトラッキング試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
	温度測定				
	グースアスファルト 舗装 (舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]		
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土 の締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する	不要	
		ブルーフローリング	路床毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について 実施 [試験実施中]		
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	不要	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土 の締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する		
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		たわみ量	ブルーフローリングの不良個所について 実施 [試験実施中]		
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	不要	
14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜 [試験実施中]	不要	
		モルタルの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強上壁工	現場密度の測定	上質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土 の締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する	不要	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
16	吹付工 (施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	モルタルを除く
		コンクリートの圧縮強度試験			
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	不要	モルタルを除く
		塩化物総量規制			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		スランブ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
18	河川・海岸土工 (施工)	現場密度の測定	上質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
19	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
20	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要	
		ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	上質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
21	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	不要	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			概要
		撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
22	路上再生路盤工 (材料)	修正C B R試験	材料毎に1回 [試験実施中]	不要	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]		
		土の一軸圧縮試験			
		C A Eの一軸圧縮試験			
		含水比試験			
23	路上表層再生工 (材料)	旧アスファルト針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	不要	
		旧アスファルトの軟化点			
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
24	排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場)	温度測定			
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
		外観検査			
25	プント再生舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要	
		再生アスファルト量			
	プント再生舗装工 (舗設現場)	外観検査			
		温度測定			
		現場密度の測定			
26	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 [試験実施中]	不要	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
27	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施中]	不要	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて [試験実施中]				
28	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 [現物照合時]	不要	
		在庫品切出	当初の物件で1枚 [切出時] ※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 [試験実施中]		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 [掘削中]	代表箇所 各1枚	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m 又は1施工箇所 に1回 [掘削後] 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 [掘削後]		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の場合)における空中写真計測(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
1 共通編	2 土工	3 河川土工	3		盛土工	巻出し厚	200m に1回 [巻出し時] 「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	代表箇所 各1枚	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 [締固め時]		
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m 又は1施工箇所に1回 [施工後] 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 [施工後]		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 多点計測技術(面管理の場合)における空中写真計測(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
1 共通編	2 土工	3 河川土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	厚さ	120 m又は1 施工箇所に1 回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
1 共通編	2 土工	3 河川土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	120 m又は1施工箇所に1回 [仕上げ時]	代表箇所 各1枚	
1 共通編	2 土工	3 河川土工	6		堤防天端工	厚さ 幅	200 mに1 回 [施工後]	代表箇所 各1枚	

【第1編 共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 [掘削中]	代表箇所 各1枚	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 [掘削後] 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 [掘削後]		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)多点計測技術(面管理の場合)における空中写真計測(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 [巻出し時] 「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要	代表箇所 各1枚	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況(プリズムが必要な場合のみ)がわかるように撮影
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 [締固め時]		
						法長 幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後] 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 [施工後]		
							「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)多点計測技術(面管理の場合)における空中写真計測(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。		
1 共通編	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工(盛土部)	仕上げ状況 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 [仕上げ時]	代表箇所 各1枚	
1 共通編	2 無筋、鉄筋 コンクリート	5 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所 各1枚	
						かぶり	コンクリート打設毎に1回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)		
1 共通編	2 無筋、鉄筋 コンクリート	5 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋檣上部工事と下部工事	非破壊試験 (電磁誘導法、電磁波レーダ法)	試験毎に1回 [試験実施中]	代表箇所各1枚 [試験種別毎]	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	4		矢板工 [指定仮設・任意仮設は除く] (鋼矢板) (軽鼠鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	根入長	40m又は1施工箇所1回 [打込前後]	代表箇所 各1枚	
						変位	40m又は1施工箇所1回 [打込後]		
						数量	全数量 [打込後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	5		縁石工 (縁石・アスカーブ)	施工状況	種別毎に1回 [施工中]	不要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	6		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎5箇所に1回 [施工後]	不要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	7		防止柵工 (立入防柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	※基礎幅 ※基礎高さ	1施工箇所に1回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後]	不要	
						パイプ取付高	1施工箇所に1回 [施工後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	1 施工箇所に 1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後]	不要	
						ビーム取付高	1 施工箇所に 1 回 [施工後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	1 施工箇所に 1 回 (※印は現場打ち部分がある場合) [施工後]	不要	
						ケーブル取付高	1 施工箇所に 1 回 [施工後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	9		区画線工	材料使用量	全数量 [施工前後]	不要	
						施工状況	施工日に1回 [施工前後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高さ	1施工箇所に1回 [施工後]	不要	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	11		コンクリート面塗装工	材料使用最 (塗料缶)	全数量 [使用前後]	代表箇所 各1枚	
						素地調整状況 (塗替)	スパン毎、部材別 [施工前後]		
						塗装状況	各層毎に1回 [塗装後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	12	1	プレテンション桁製作工 (購入工) (けた橋)	断面の外形寸法橋桁の そり 横方向の曲がり	1スパンに1回 [製作後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	12	2	プレテンション桁製作工 (購入工) (スラブ橋)	断面の外形寸法橋桁の そり 横方向の曲がり	1スパンに1回 [製作後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	13		ポストテンション桁製作工	シーす、PC鋼材配置 状況	桁毎に1回 [打設前]	代表箇所 各1枚	
						幅 (上) 幅 (下) 高さ	桁毎に1回 [型枠取外後]		
						中詰め及びグラウト状 況	1スパンに1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	14	1	プレキャストセグメント製作工 (購入工)	断面の外形寸法	1スパンに1回 [製作後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	14	2	プレキャストセグメント主桁組立 工	組立状況	1スパンに1回 [組立時]	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	15		P Cホロースラブ製作工	シーす、P C鋼材配置状況	桁毎に1回 [打設前]	代表箇所 各1枚	
						幅厚さ	桁毎に1回 [型枠取外し後]		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	1	P C箱桁製作工	シーす、P C鋼材配置状況	桁毎に1回 [打設前]	代表箇所 各1枚	
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 [型枠取外し後]		
						内空幅 円空高さ	桁毎に1回 [型枠設置後]		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	16	2	P C押し箱桁製作工	シーす、P C鋼材配置状況	桁毎に1回 [打設前]	代表箇所 各1枚	
						幅(上) 幅(下) 高さ	桁毎に1回 [型枠取外し後]		
						内空幅 円空高さ	桁毎に1回 [型枠設置後]		
						中詰め及びグラウト状況	1スパンに1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	21	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	胴込裏込厚	120m又は1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						法長	200m又は1施工箇所に1回 [施工後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	21	2	多自然型護岸工 (かごマット)	高さ 法長	200m又は1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	22		プレキャストカルバート工 (プレキャストボックス工) (プレキャストパイプ工)	据付状況	200m又は1施工箇所1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						※幅 ※高さ	200m又は1施工箇所1回 (※印は場所打ちの場合) [埋戻し前]		
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	23	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝) (自由勾配側溝) (管渠)	据付状況	200m又は1施工箇所1回 [埋戻し前]	不要	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	23	2	場所打水路工	厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所1回 [型枠取外し後]	代表箇所 各1枚	
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	23	3	暗渠工	幅 深さ	120m 又は 1 施工箇所1回 [埋戻し前]	不要	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	3	24		集水榭工	厚さ 幅 高さ	1 施工箇所 に 1 回 [型枠取外し後]	不要	
3	2	3	25		現場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 [使用前後]	代表箇所 各1枚	
						ケレン状況 (塗替)	スパン毎、部材別 [施工前後]		
						塗装状況	各層毎1スパンに1回 [塗装後]		
3	2	4	1		一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 高さ	40m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	不要	
3	2	4	3	1	基礎工護岸 (現場打)	幅 高さ	200 m又は1施工箇所 に1回 [型枠取外し後]	代表箇所 各1枚	
3	2	4	3	2	基礎工護岸 (プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	4	4		既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	偏心量	1施工箇所 に1回 [打込後]	代表箇所 各1枚	
						根入長	1施工箇所 に1回 [打込前]		
						数量	全数量 [打込後]		
						杭頭処理状況	1施工箇所 に1回 [処理前、中、後]		
3	2	4	5		場所打杭工	根入長	1施工箇所 に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						偏心量	1施工箇所 に1回 [打込後]		
						数量、杭径	全数量 杭頭余盛部の撤去前、杭頭 処理後		
						杭頭処理状況	1施工箇所 に1回 [処理前、中、後]		
						鉄筋組立状況	1施工箇所 に1回 [組立後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	6		深礎工	根入長	全数量 [掘削後]	代表箇所 各1枚	
						偏心量 数量	全数量 [施工後]		
						ライナープレート設置 状況	1施工箇所に1回 [掘削後]		
						土質	土質の変わる毎に1回 [掘削中]		
						鉄筋組立状況	全数量 [組立後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	7		オープンケーソン基礎工	沓	1基に1回 [据付後]	全枚数	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 [設置後及び型枠取外し後]		
						載荷状況	1基に1回 [載荷時]		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に 1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	8		ニューマチックケーソン基礎工	沓	1基に1回 [据付後]	全枚数	
						ケーソンの長さ ケーソンの幅 ケーソンの高さ ケーソンの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロットに1回 [設置後及び型枠取外し後]		
						載荷状況	1基に1回 [載荷時]		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	9		鋼管矢板基礎工	沓	1基に1回 [据付後]	全枚数	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基に1回 [設置後]		
						載荷状況	1基に1回 [載荷時]		
						封鎖コンクリート 打設状況 中埋状況	1基に1回 [施工時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積(張)工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック張り)	厚さ(裏込)	120m又は1施工箇所に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						法長 厚さ (ブロック積張)	200m又は1施工箇所に1回 [施工後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	5 石・ブロック積(張)工	3	2	コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	法長	200m又は1施工箇所に1回 [施工後] ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	5	3	3	コンクリートブロック工 (天端保護ブロック)	幅	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	5	4		緑化ブロック工	厚さ (甕込)	120m又は1施工箇所 に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
					法長 厚さ (ブロック)	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後] ただし、根入部は40mに1回			
3	2	5	5		石積 (張) 工	厚さ (裏込)	120m 又は 1 施工箇所 に 1 回 [施工中]	代表箇所 各 1 枚	
					法長 厚さ (石積・張)	200m 又は 1 施工箇所 に 1 回 [施工後] ただし、根入部は40mに 1 回			
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
					整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]			
					厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 [整正後]			
					幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 [整正後]			
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
					整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]			
					厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 [整正後]			
					幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 [整正後]			
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
					整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]			
					厚さ	1,000㎡に1回 [整正後] ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎 1 工事に 1 回 [整正後]			
					幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は各層毎 1 工事に 1 回 [整正後]			

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						平坦性	各層毎80mに1回 [修正後]		
3	2	6	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	4	半たわみ性舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	5	半たわみ性舗装工（基層工）	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	6	半たわみ性舗装工（表層工）	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						浸透性ミルク注入状況	400mに1回 [注入時]		
						平坦性	1工事1回 [実施中]		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	9	1	排水性舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	9	2	排水性舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	9	3	排水性舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	5	排水性舗装工(基層工)	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	6	排水性舗装工(表層工)	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						平坦性	1工事に1回 [実施中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」により 「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	10	2	透水性舗装工 表層工	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						平坦性	1工事に1回 [実施中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は各層毎1工事に1回 [整正後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファルト舗装工（基層工）	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファルト舗装工（表層工）	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						平坦性	1工事に1回 [実施中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	1	コンクリート舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	2	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所各1枚	
						整正状況	各層毎400mに1回 [整正後]		
						厚さ	1,000㎡に1回 [整正後] ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工（アスファルト中間層）	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所各1枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						幅	各層毎80mに1回 [整正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	5	コンクリート舗装工（コンクリート舗装版工）	石粉、プライムコート	各層毎に1回 [散布時]	代表箇所各1枚	
						スリップバー、タイバー寸法、位置	80mに1回 [据付後]		
						鉄網寸法位置	80mに1回 [据付後]		
						平坦性	1工事に1回 [実施中]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [型枠据付後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [整正後]		
						目地段差	1工事に1回		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	6	12	6	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]		
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [型枠据付後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]		
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]		
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	1,000㎡に1回 [修正後] ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） アスファルト中間層	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況	100mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						厚さ	各層毎 200m に1 回 [型枠据付後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」により 「厚さあるいは標高較差」を管理 する場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						平坦性	1工事に1回 [実施中]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	1	薄層カラー舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	2	薄層カラー舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）舗装工編多 点計測技術（面管理の場合）」に よる場合は各層毎1工事に1回 [修正後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	3	薄層カラー舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	1,000㎡に1回 [修正後] ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	4	薄西カラー舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
						厚さ	1,000㎡に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	13	5	薄層カラー舗装工（基層工）	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						厚さ	1,000㎡に1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	1	ブロック舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	2	ブロック舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	3	ブロック舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後] ※コアを採取した場合は写真 不要		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	4	ブロック舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領（案）」による場 合は各層毎1工事に1回 [修正後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	15		路面切削工	幅 厚さ	1施工箇所 に1回 [施工後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領 (案)」による場 合は1工事に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	16		舗装打換え工	幅 延長 厚さ	1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	17		オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート	各層毎に1回 [散布時]		
						修正状況	400mに1回 [施工後]		
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3 土木工事共通編	2 一般施工	7 地盤改良工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	7	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	7	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	7	8		パーチカドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	打込長さ 施工状況	200㎡又は1施工箇所 に1回 [打込み前後、施工中]	代表箇所 各1枚	
						杭径 位置・間隔	200㎡又は1施工箇所 に1回 [打込後]		
						砂の投入量	全数量[打込前後]		
3	2	7	9		固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所 に1回 [打込後]	代表箇所 各1枚	
						深度	1施工箇所 に1回 [打込前後]		
							ただし、(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)固結工(スラリー攪拌工)編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。		
3	2	10	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	変位 根入長	40m又は1施工箇所 に1回 [打込前]	代表箇所 各1枚	
						数量	全数量 [打込後]		
3	2	10	5	2	土留・仮締切工(アンカー工)	削孔深さ	1施工箇所 に1回 [削孔後]	代表箇所 各1枚	
						配置誤差	1施工箇所 に1回 [施工後]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	10	5	3	土留・仮締切工（連節ブロック張り工）	法長	200m又は1施工箇所 [施工後] ただし、根入部は40mに1回	代表箇所 各1枚	
3	2	10	5	4	土留・仮締切工（締切盛土）	天端幅 法長	250m又は1施工箇所 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	10	5	5	上留・仮締切工（中詰盛土）	出来ばえ	250m又は1施工箇所 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	10	9		地中連続壁工（壁式）	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	10	10		地中連続壁工（柱列式）	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	10	22		法面吹付工		第3編2-3-6吹付工に準ずる		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	12	1	1	鑄造費 (金属支承工)	製作状況	適宜 [製作中]	代表箇所各1枚	
3	2	12	1	2	鑄造費 (大型ゴム支承工)	製作状況	適宜 [製作中]	代表箇所各1枚	
3	2	12	1	3	仮設材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	
						製作状況	適直 [製作中]		
3	2	12	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	1施工箇所に1回 [仮組立時]	代表箇所各1枚	
3	2	12	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		
3	2	12	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	3	3	桁製作工 (銅型堰堤製作工 (仮組立時))	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1基に1回又は1工事に1回 [仮組立時]	代表箇所各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	12	4		検査路製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	5		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		
3	2	12	6		落橋防止装置製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	7		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	8		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]	代表箇所 各1枚	
3	2	12	9		プレビーム用桁製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	12	10		銅製排水管製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
3	2	12	11		工場塗装工	材料使用量 (塗料缶)	全数量 [使用前後]	代表箇所 各1枚	
						素地調整状況 (塗替)	部材別 [施工前後]		
						塗装状況	各層毎に1回 [塗装後]		
3	2	13	1		架設工 (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクション架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架設)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 [架設中]	代表箇所 各1枚	
3	2	14	2	1	植生工 (種子散布工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工、植生マット工) (植生筋工) (人工張芝工) (植生穴工)	材料使用量	1工事に1回 [混合前]	代表箇所 各1枚	
						土羽土の厚さ	200m又は1施工箇所に1回 [施工中]		
						法長	200m又は1施工箇所に1回 [施工後]		
3	2	14	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 [清掃後]	代表箇所 各1枚	
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 [吹付前]		
						厚さ (検測孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 [吹付後]		
						法長	200 m又は1施工箇所に1回 [施工後]		
						材料使用量	1工事に1回 [混合前]		
3	2	14	3		吹付工 (コンクリート) (モルタル)	清掃状況	200m又は1施工箇所に1回 [清掃後]	代表箇所 各1枚	
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	200m又は1施工箇所に1回 [吹付前]		
						法長	200m又は1施工箇所に1回 [施工後]		
						厚さ (検測孔)	200㎡又は1施工箇所に1回 [吹付後]		
3	2	14	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所に1回 [施工後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」に基づき 写真測量に用いた画像を納品する 場合には、写真管理に代えること ができる。	代表箇所 各1枚	

【第3編 土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
3	2	14	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
3	2	14	6		アンカー工	削孔深さ	1施工箇所 に1回 [削孔後]	代表箇所 各1枚	
						配置誤差	1施工箇所 に1回 [施工後]		
3	2	15	1		場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 [施工中] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は1工事に1回	代表箇所 各1枚	
						厚さ 幅 高さ	200m又は1施工箇所 に1回 [型枠取外し後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」による場 合は1工事に1回 [型枠取外し後]		
3	2	15	2		プレキャスト擁壁工	据付状況	200m又は1施工箇所 に1回 [埋戻し前]	代表箇所 各1枚	
3	2	15	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所 に1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						法長 厚さ	200m又は1施工箇所 に1回 [施工後]		
3	2	17	1		床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	1スパンに1回 [打設前後]	代表箇所 各1枚	

【第4編 河川編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
4	1	7	4		護岸付属物工	幅 高さ	1箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	

【第5編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
5	1	3	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所 [製作後]	代表箇所 各1枚	
5	1	9	6		場所打函渠工	厚さ 幅 (内空) 高さ	100m又は1施工箇所に1回 [型枠取外し後]	代表箇所 各1枚	
5	2	4			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						修正状況	各層毎400mに1回 [修正後]		
						厚さ	各層毎200mに1回 [修正後]		
						幅	各層毎80mに1回 [修正後]		
5	2	4			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	修正状況	400mに1回 [修正後]	代表箇所 各1枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]		
						平坦性	1工事に1回 [実施中]		
5	2	5	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 [施工中]	不要	
5	2	7	4		踏掛版工 (コンクリート工) (ラバーシュー) (アンカーボルト)	くコンクリート工) 各部の厚さ 各部の長さ	1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
						(ラバーシュー) 各部の長さ 厚さ			
						(アンカーボルト) 中心のずれ アンカー長			
5	2	9	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 [施工後]	適宜	
5	2	9	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ	1施工箇所に1回	適宜	
5	2	12	5	1	ケーブル配管工	配管状況	100m又は1施工箇所に1回 [施工後]	不要	

【第5編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
5	2	12	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	厚さ 幅 高さ	100m又は1施工箇所 に1回 [施工後]	不要	
5	2	12	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回 (施工前 は必要に応じて) [施工前後]	適宜	
5	3	3	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況 製作状況 仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1脚に1回又は1工事に1回 [原寸時] 適宜 [製作中] 1脚に1回又は1工事に1回 [仮組立時]	代表箇所 各1枚	
5	3	6	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 [型枠取外し後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領 (案)」により出 来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	
5	3	7	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 [型枠取外し後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領 (案)」により出 来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	
5	3	7	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 [型枠取外し後] ただし、「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領 (案)」により出 来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	
5	3	8	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	幅 高さ 長さ	全数量 [型枠取外後]	代表箇所 各1枚	
5	3	8	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	幅 高さ	全数量 [型枠取外後]	代表箇所 各1枚	

【第5編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
5	3	8	10	1	橋脚架設工(I型・T型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 [架設中]	代表箇所 各1枚	
5	3	8	10	2	橋脚架設工(門型)	架設状況	架設工法が変わる毎に1回 [架設中]	代表箇所 各1枚	
5	3	8	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
5	4	3	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
5	4	8	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削 孔長	1施工箇所1回 [削孔後]	代表箇所 各1枚	
5	5	6	2		プレビーム桁製作工(現場)	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 [原寸時]	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 [製作中]		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回 [仮組立時]		
						幅 高さ	桁毎に1回 [型枠取外し後]		

【第5編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
5	7	6	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	200 m又は1施工箇所 に1回 [型枠取外し後]	代表箇所 各1枚	
5	7	6	4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所に1回 [設置後]	代表箇所 各1枚	
5	7	6	5	1	防水工 (防水)	幅	100m又は1施工面所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
5	7	6	5	2	防水工 (防水保護工)	厚さ	100m又は1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
5	7	6	5	3	防水工 (防水壁)	高さ 幅 厚さ	1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
5	7	7	2		プレキャスト躯体工	据付状況	200m又は1施工箇所に1回 [埋戻し前]	代表箇所 各1枚	

【第5編 道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
5	8	5	2		管路工 (管路部)	敷設状況	100m又は1施工箇所 に1回 [敷設後]	代表箇所 各1枚	
5	8	5	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	据付状況	100m又は1施工箇所 に1回 [据付後]	代表箇所 各1枚	
5	8	5	4		現場打ちボックス工 (特殊部)	厚さ 内空幅 内空高	100m又は1施工箇所 に1回 [型枠取外し後]	代表箇所 各1枚	
5	8	6	2		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所 に1回 [型枠取外し後]	不要	
5	10	3	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所 に1回 [施工後]		
						タックコート	各層毎 に1回 [散布時]		
						整正状況	400m に1回 [施工後]		
5	10	3	7		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎 400mに1回 [施工中]	代表箇所 各1枚	
						整正状況 厚さ	各層毎 400mに1回 [整正後]		

【その他】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度 [時期]	提出頻度	
その他					舗装工関係 橋面防水工	塗布又は設置状況	1施工箇所 [施工中]	代表箇所 各1枚	
					維持修繕工関係 アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に1回 [施工前後]	不要	
					維持修繕工関係 コンクリート舗装	目地掃除	3,000㎡に1回 [施工前後]	不要	
						目地充填	3,000㎡に1回 [施工後]		
						注入工、削孔状況 (位置、間隔)	2,000㎡に1回 [削孔後]		
						注入エ、注入圧	2,000㎡に1回 [注入時]		
						目地亀裂防止材、張付け状況	3,000㎡に1回 [張付け後]		
						局部打換、各層厚さ	各層毎100mに1回又は1施工箇所に1回 [施工前後]		
					路肩、路側路盤工	厚さ	100mに1回又は1施工箇所に1回 [施工後]	代表箇所 各1枚	
					道路除草	施工状況	5kmに1回 (1回刈毎) [施工前後]	適宜	
					路肩整正	施工状況	1kmに1回	適宜	
					新設、更新、修理防護柵類	施工状況	1施工箇所に1回 (施工前は必要に応じて) [施工前後]	適宜	
					新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎5カ所に1回 (施工前は必要に応じて) [施工前後]	適宜	
					新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎5カ所に1回 (施工前は必要に応じて) [施工前後]	適宜	
					視線誘導標	施工状況	施工日に1回 [施工後]	適宜	
					清掃 (路面、標識、側溝、集水樹)	施工状況	施工日に1回 [施工前後]	適宜	
					区画線路面表示	施工状況	施工日に1回 [施工前後]	適宜	
						材料使用量	全数量 [施工前後]	適宜	
					街路樹植樹	施工状況	適宜 [施工前後]	適宜	
					街路樹補強補植	施工状況	適宜 [施工前後]	適宜	
					街路樹剪定	施工状況	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回 [施工前]	適宜	
					街路樹消毒、施肥	施工状況	街路樹50本に1回、グリーンベルト100mに1回 [施工前]	適宜	
					街路樹雪囲	施工状況	適宜 [施工後]	適宜	
					排雪除雪	施工状況、機種	施工中に1回 施工中	適宜	
					凍結防止剤散布	施工状況	施工中に1回 施工中	適宜	
						材料使用量	全数量 [施工前後]	適宜	
					河川除草	施工状況、刈草処理状況	1kmに1回 (1回刈毎) [施工前後]	適宜	
その他				維持修繕工関係 鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手手法	打設ロット毎に1回又は1施工箇所に1回 [組立後]	適宜	
					コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に1回 [施工時]	1施工ブロック各1枚	
					養生	養生状況	工種種別毎に1回、養生方法毎に1回 [養生時]		

【第7編 下水道編】

1. 用語の定義

- (1) 本撮影箇所一覧表の撮影項目及び撮影頻度は、標準を示したもので、工事内容により必要に応じて増減することがある。
- (2) 1 施工単位とは、施工箇所の 1 スパンをいう。ただし 1 スパンでも形状寸法・規格等が変わるごとに 1 施工単位とする。
- (3) 施工状況写真は、工種・種別ごとに全景、近景の撮影を行なうこと。
- (4) 設計書に形状寸法が明示されているものは必ず撮影すること。
- (5) 備考欄、記号 A は施工状況、B は出来形管理写真を示す。

【第7編 下水道編】

(開削工・推進工・シールド工)

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	備考
前及び完成 着手写真	着手前		全景または代表部分写真	着手前	着手前1回	
	完成			完成後	施工完了後1回	
施工状況及び出来形管理写真(開削工)	工事施工中		全景または代表部分の工事進捗よく状況	月末	月1回	
	土工	掘削工	掘削作業状況	掘削中	1施工単位に1回	㉠
			土質等の判別	掘削中	土質が変わるごとに1回	㉠
			幅・深さ	掘削後	1施工単位に1回	㉡
		埋め戻し工	締め固め状況	転圧時	転圧機械が変わるごとに1回	㉠
			巻き出し厚	巻き出し時	1施工単位に1回	㉡
	残土運搬工		積み込み及び投棄中	㉠		
	土留め工	打ち込み	施工状況	施工中	1施工単位に1回	㉠
		引き抜き				㉠
		支保工	設置状況	設置中		㉠
			撤去状況	撤去中		㉠
		仮設材料	形状寸法			㉡
	基礎工	栗石基礎工	締め固め状況	転圧時	転圧機械が変わる毎に1回	㉠
			厚さ・幅	締め固め後	1施工単位に1回	㉡
		砕石基礎工	締め固め状況	転圧時	転圧機械が変わる毎に1回	㉠
			厚さ・幅	締め固め後	1施工単位に1回	㉡
		砂基礎工	締め固め状況	転圧時	転圧機械が変わる毎に1回	㉠
			厚さ・幅	締め固め後	1施工単位に1回	㉡
		コンクリート基礎工	打設状況	打設中	1施工単位に1回	㉠
			厚さ・幅	型枠取り外し後		㉡
		まくら及びコンクリートまくら土台基礎工	据え付け状況	据え付け中		㉠
				据え付け後		㉡
		はしご土台基礎工	据え付け状況	据え付け中		㉠
				据え付け後		㉡
		捨コンクリート	打設状況	打設中		㉠
	厚さ・幅		型枠取り外し後	㉡		

【第7編 下水道編】

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	備考	
（施工状況及び出来形管理写真（開削工））	管布設	管布設	つり込み状況	つり込み中	1 施工単位に 1 回	㊦	
			布設状況	布設中		㊦	
			全景	布設後		㊧	
	矩形きょ工	鉄筋工	鉄筋工	配筋状況	配筋中	1 施工単位に 1 回	㊦
				位置・間隔・継ぎ手寸法	組み立て後		㊧
		コンクリート工	コンクリート工	打設状況	打設中		㊦
				高さ・幅・厚さ	型枠取り外し後		㊧
		養生	養生状況	養生中	㊦		
	マルホール 築造工	底部コンクリート工	底部コンクリート工	コンクリート打設状況	打設中	1か所に 1 回	㊦
				厚さ・幅	型枠取り外し後		㊧
		モルタル上塗り	モルタル上塗り	厚さ	施工中		㊧
		足掛け金物	足掛け金物	設置状況	設置中		㊦
				形状・間隔	設置後		㊧
		壁立ち上がり工	壁立ち上がり工	コンクリート打設状況	打設中		㊦
				厚さ・幅	型枠取り外し後		㊧
		床版工	床版工	コンクリート打設状況	打設中		㊦
				厚さ・幅	型枠取り外し後		㊧
		鉄筋工	鉄筋工	矩形きょ工に準ずる			
		ブロック据え付け工	ブロック据え付け工	据え付け状況	据え付け中		㊦
				形状寸法・接合モルタル状況			㊧
		マンホールふた設置工	マンホールふた設置工	設置状況	設置中		㊦
				形状寸法	設置後		㊧
		取付管工	汚水・雨水ます	汚水・雨水ます	設置状況		設置中
	設置位置				設置後	㊧	
	取付管布設		取付管布設	布設状況	布設中	㊦	
				勾配・配管	布設後	㊧	

【第7編 下水道編】

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	備考		
施工状況及び出来形管理写真（開削工）	水替え工	水替え工	水替え中の近景、全景	排水中	1施工単位に1回	㊦		
			掘削敷の排水状況			㊦		
		ウエルポイント	ウエルポイント	ウエルポイント設置状況	設置中	1施工単位に1回	㊦	
				運転状況	運転中		㊦	
				排水状況	排水中		㊦	
		路面覆工	覆工板設置工	設置状況	設置中	1施工単位に1回	㊦	
	在来路面とのとりあい			設置後	㊦			
	全景			設置後	㊦			
	撤去状況			撤去中	㊦			
	薬液注入工	薬液注入工	ボーリング状況	ボーリング中	10本に1回	㊦		
			運転状況	運転中		㊦		
			入荷状況	入荷時	入荷ごとに1回	㊧		
	路面復旧工	仮復旧	仮復旧	仮復旧状況	施工中	1施工単位に1回	㊦	
				幅・厚さ・長さ			㊧	
				整正状況			整正後	㊦
		本復旧	路盤工	路盤工	転圧状況	施工中	1施工単位・各層ごとに1回	㊦
					整正状況	整正後		㊦
					厚さ			㊧
			アスファルト舗装	アスファルト舗装	整正状況	整正後	1施工単位・各層ごとに1回	㊦
					タックコート、プライムコート	散布中		㊦
					抜き取りコア厚さ	コア抜き取り後	全数量	㊧
					平坦性	実施中	1施工単位に1回	㊦
	路面取りこわし工	舗装版切断工	作業状況	切断中	1施工単位に1回	㊦		
舗装版破砕工		破砕中		㊦				
図面との不一致			図面と現地との不一致の写真	発生時	必要に応じて			

【第7編 下水道編】

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	備考		
施工状況及び出来形管理写真（推進工）	管推進工	管内掘削工	掘削状況	掘削中	毎日1回	㊦		
			土質等の判別		土質が変わるごとに1回	㊦		
		坑内作業工	管据え付け状況	据え付け中	1 施工単位に1回	㊦		
			坑内ずり出し状況	ずり出し中		㊦		
			坑内推進状況	推進中		㊦		
		坑外作業工	油圧機器類の操作状況	推進中	1 施工単位に1回	㊦		
			坑外ずり出し状況	ずり出し中		㊦		
			ウインチ・クレーンの運転状況	運転中		㊦		
		ずり運搬工		積み込み及び投棄中	1 施工単位に1回	㊦		
		推進工	直線性の判定できるもの	推進完了後		㊧		
		管布設工	(開削工に準ずる)					
		管目地工	目地モルタル工	施工状況	施工中	1 施工単位に1回	㊦	
	施工後				㊦			
	滑剤注入及び裏込め注入工	滑剤注入及び裏込め注入工	注入状況	注入中	1 施工単位に1回	㊦		
			運転状況	運転中		㊦		
			入荷状況	入荷時	入荷ごとに1回	㊧		
	仮設備工	支圧壁工	コンクリート打設状況	打設中	1ヵ所に1回	㊦		
			幅・厚さ・高さ	型枠取り外し後		㊧		
			変形状況	推進中		㊦		
			取りこわし状況	取りこわし中		㊦		
		クレーン設備工	全景	組み立て後	1ヵ所に1回	㊦		
		基礎コンクリート工	栗石締め固め状況	転圧中	1ヵ所に1回	㊦		
			栗石厚さ・幅	締め固め後		㊧		
			コンクリート打設状況	打設中		㊦		
			コンクリート厚さ・幅			㊧		
		発進坑口工	施工状況	施工中	1ヵ所に1回	㊦		
			形状寸法	施工後		㊧		
			取り壊し状況	取りこわし中		㊦		

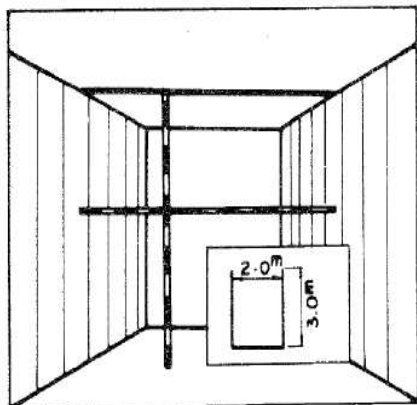
【第7編 下水道編】

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度	備考
写真 (施工状況及び 推進工) 出来形管理	仮設備工	推進設備工	組み立て状況	組み立て中	1ヵ所に1回	㊦
				組み立て後		㊦
			解体状況	解体中		㊦
		刃口撤去工	撤去状況	撤去中		㊦
		鏡切り工	切断状況	切断中		㊦
(シールド工) 出来形管理写真	シールド工	一次覆工	土質等の判別	掘削中	土質が変わるごとに1回	㊦
			掘削状況		㊦	
			セグメント組み立て状況	組み立て中	1施工単位に1回	㊦
		セグメント清掃状況	清掃中	㊦		
		二次覆工	コンクリート打設状況		1スパンに1回	㊦
			厚さ			㊦

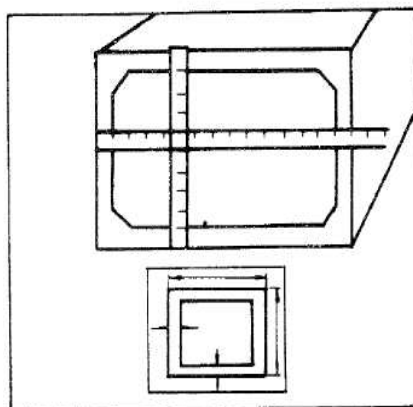
【第7編 下水道編】

添付図

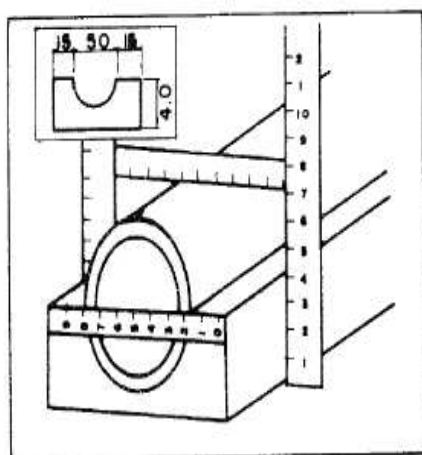
掘削



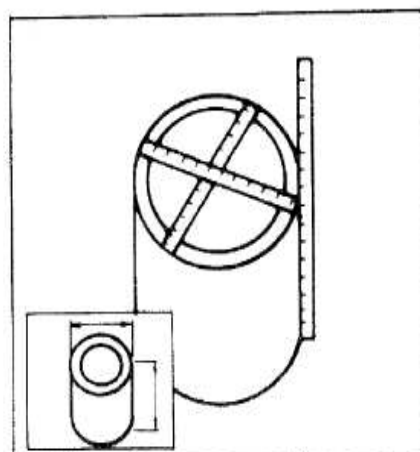
矩形きよ



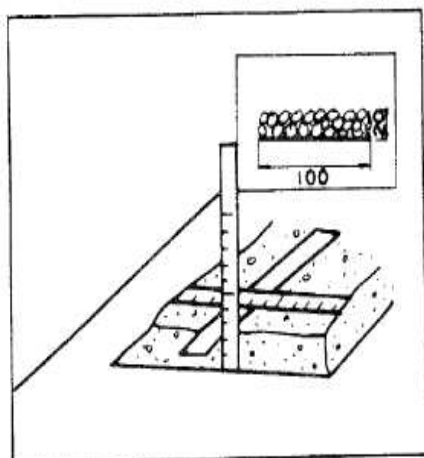
180°基礎



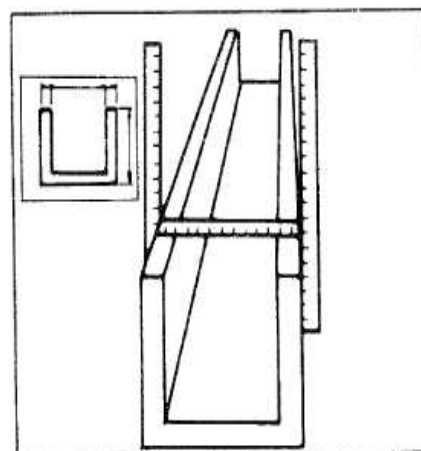
マンホール躯体



まき出し厚

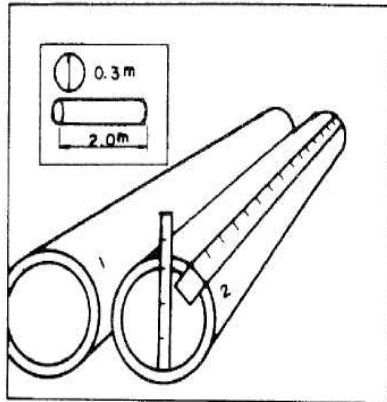


側溝

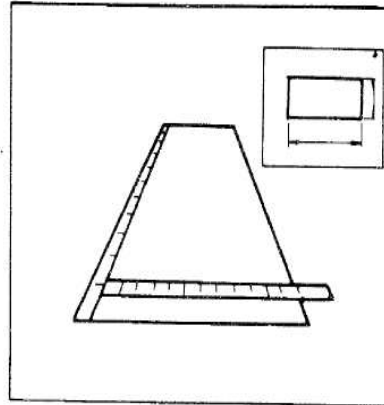


【第7編 下水道編】

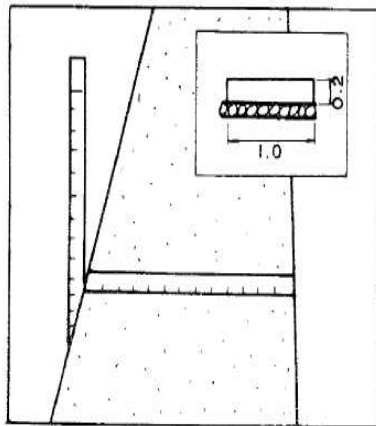
材料検収



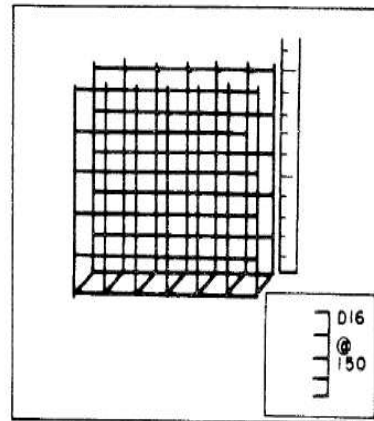
舗装仮復旧



基礎コンクリート



配筋



別紙「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準（案）」

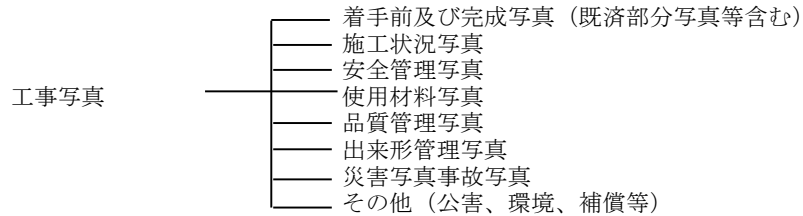
1. 総則

1-1 適用範囲

この写真管理基準は、土木工事施工管理基準に定める土木工事の工事写真による管理（フィルムカメラを使用した撮影～提出）に適用する。

1-2 工事写真の分類

工事写真は以下のように分類する。



2. 撮影

2-1 撮影頻度

工事写真は、写真管理基準の撮影箇所一覧表に示す「撮影頻度」に基づき撮影するものとする。

2-2 撮影方法

写真撮影にあたっては、以下の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

- ① 工事名
- ② 工種等
- ③ 測点（位置）
- ④ 設計寸法
- ⑤ 実測寸法
- ⑥ 略図

小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。また、特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

2-3 情報化施工

「T Sを用いた出来形管理要領（土工編）」（平成24年3月29日付け国官技第347号、国総公 第85号）による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は同要領の規定による。

2-4 写真の省略

工事写真は以下の場合に省略するものとする。

- (1) 品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は撮影を省略するものとする。
- (2) 出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を工種ごとに1回撮影し、後は撮影を省略するものとする。
- (3) 監督職員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

2-5 撮影の仕様写真の色彩や大きさは以下のとおりとする。

- (1) 写真はカラーとする。
- (2) 写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

2-6 留意事項

写真管理基準の撮影箇所一覧表の適用について、以下の事項を留意するものとする。

- (1) 「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
- (3) 不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
- (4) 撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図（撮影位置図、平面図、凡例図、構造図など）を工事写真帳に添付する。
- (5) 写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員と写真管理項目を協議のうえ取扱いを定めるものとする。

3. 整理提出

工事写真として、撮影写真の原本及び工事写真帳を各1部提出するものとし、その整理方法等は以下によるものとする。

- (1) 撮影写真の原本撮影写真の原本とは、写真管理基準の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のネガをいい、密着写真とともに撮影内容がわかるようにネガアルバムに整理し提出するものとする。
- (2) 工事写真帳工事写真帳は、写真管理基準（案）の撮影箇所一覧表「撮影頻度」に基づいて撮影した写真のうち、「提出頻度」に示す写真をアルバム等に整理したものをいい、工事写真帳の大きさは、4切版またはA4版とする。

4. その他

写真管理基準撮影箇所一覧表の用語の定義

- (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。
- (2) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。
- (3) 不要とは工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。